**学校、大好き／ロボホンに教えよう、わたしの学校**

|  |  |
| --- | --- |
| 学年 | 小学2年生 |
| 教科等 | 道徳 |
| 著作・制作者 | Benesse Corporation明星学苑　明星小学校 |
| 使用教材 |  |

学習活動の概要

* 単元や題材などの目標

学習活動

転校生であるロボホンに対して、自分の所属する学校について紹介する活動。ロボホンは、予め決められた台詞をしゃべるので、その台詞に合わせて、児童は対話ができるようにシナリオを考える。

目標

・小学校に来た新しい仲間であるロボホンに、自分の学校や学級の良さを伝えるために、学校・学級の良いところを考えていく活動を通し、学校・学級への所属意識を高め、これまで以上に、より良い学校生活を過ごそうとする心情を育てる

・ロボホンが話す台詞を聞いて、対話するための条件を考え、適切なシナリオを作ることができる（条件制御の考え）

・ロボットがどのようなプログラミングで動いているのか、仕組みに興味をもつ

知識・技能

・ロボットが話したり動いたりるために、プログラミングが制御していることを知る

・ロボットと共生する時代に、ロボホンを人間の仲間としてとらえようとする

思考力・判断力・表現力

・ロボホンの台詞を聞いて、自然な対話をするにはどのようなシナリオにすればいいのか、条件を見つけることができる

学びに向かう力

・ロボホンがどのように制御されているのか、言語設定などの仕組みに興味をもつ

* 指導にあたって

（１）児童観

（２）教材観

ロボット演劇の手法を用いて、予め決められたロボットの台詞に合わせて、自然に対話できるようなシナリオを考え、ペア活動で練習して、発表する教材。演じるという場面を与えることで、言いにくい意見も言いやすくなるという効果がある。ペア活動では、互いの意見に対してアドバイスすることで、小さな議論の機会が生まれる。最後の発表では、転校生役のロボホンに対して、本当の転校生に対して語りかけるように、気持ちをこめて話す場面をつくることができる。

（３）指導観

自主的・主体的な学び

問題解決的な学び

協働的な学び

ペア活動では、互いの意見を聞くことで、多様な考えを知り、視野を広げたり、意見を深めたりすることができる。

学習指導計画

|  |  |
| --- | --- |
| 時間数 | タイトル |
| 第1次 学校、大好き |
| 1時間目 | ロボホンに教えよう、わたしの学校【本時】 |

本時の学習（1 / 1時間）

 ロボホンに教えよう、わたしの学校【本時】　45分

１）本時のねらい

 ・小学校に来た新しい仲間であるロボホンに、自分の学校や学級の良さを伝える

 ・学校・学級の良いところを考えていく活動を通して、学校・学級への所属意識を高め、これまで以上に、より良い学校生活を過ごそうとする心情を育てる

 ・ロボホンの台詞を聞いて、対話のための条件を理解する（条件制御）

 ・ロボットは、プログラミングで制御されていることに関心をもつ

２）新学習指導要領上の位置付け

３）本時の評価基準

|  |  |
| --- | --- |
| 十分 | 緊張しているロボホンの心情を慮って、丁寧な言葉や態度で、自分の学校について親切に教えようとしている |
| 概ね | ロボホンと対話するためのシナリオを考えることができる |
| 要努力 | ロボホンと対話するための条件を理解している |

４）準備・指導等

・ロボホン

・ロボホンとの対話記入シート

５）本時の展開

【前時の振り返り（5分）】

（目的）

「道徳振り返りシート」を使い、前時に学習したことを振り返り、実践できたことをシートに書いていく

（評価／指導・支援）

・前時にどのようなことを学び、ポイントが何だったのか、思い出せている

・前時を振り返れるように話をする

（板書計画）

（児童）

・道徳振り返りシートに記入する

【ロボホンの紹介（5分）】

（目的）

ロボホンの自己紹介。
本時の活動「「ロボホンに明星小学校の楽しいところや、すてきなところを紹介しよう」」について説明を受ける

（評価／指導・支援）

・ロボホンはどのような立場で授業に関わるのか、本時の活動は何をするのか理解できる

・ロボホンの台詞は予め決まっている。
本時の活動をわかりやすく説明する

（板書計画）

（児童）

・ロボホンの会話を聞いて、ロボホンがどのような立場でクラスに来たのか注意深く聞く

【①学校の楽しい場所（7分）】

（目的）

明星小がっこくの楽しい場所を考え、そこでどんなことをして、どのように楽しむのかを考え、ロボホンに紹介する

（評価／指導・支援）

・学校の楽しい場所について考えようとしているか？

・発表者は、ロボホンに対して、丁寧に対話しているか？

・ロボホンとの対話記入シートを配布する
グループに分かれて、学校の楽しい場所について話し合う

（板書計画）

（児童）

【体を動かすのが好き（7分）】

（目的）

体を動かすことが好きなロボホンに、体を動かすのに良い場所や、自分の経験についてまとめ、ロボホンに紹介する

（評価／指導・支援）

・体を動かすのに良い場所について考えようとしているか？

・発表者は、ロボホンに対して、丁寧に対話しているか？

（板書計画）

（児童）

【③友達ができるかな？（7分）】

（目的）

友達ができるか不安なロボホンに、何を言ってあげるとよいか、ロボホンを学級の仲間に入れてあげられるように話をする

（評価／指導・支援）

・新しい環境に来て不安なロボホンの気持ちを考えているか？

・新しい環境で友達をつくるにはどうすればいいのか、考えようとしているか？

・発表者は、ロボホンに対して、丁寧に対話しているか？

・ペア活動でアドバイスし合うように促す

（板書計画）

（児童）

【④学校の好きなところ（7分）】

（目的）

学校の好きなところについて考え、ロボホンに紹介する

（評価／指導・支援）

・学校の好きなところを考えようとしているか？

・発表者は、ロボホンに対して、丁寧に対話しているか？

・好きなところがないと思っている児童に対しては、どんな小さなことでもいいので見つけられないかな？と考えを促す

（板書計画）

（児童）

【まとめ（7分）】

（目的）

ロボホンが新しい仲間となることをきっかけに、今まで以上によりよい学校生活を送るために、自分ができることは何かを考え、ノートにまとめる

（評価／指導・支援）

・新学期から新しい仲間が来たら、自分ができることは何だろう、と具体的に考えようとしている

・本時で学んだ価値項目について振り返り、本時で学んでことをどのように生かそうとしているか？

・道徳ノートに、よりよい学校生活を送るために自分ができることを書かせる

・振り返りシートの書き方について、全体に指示を出しながら、書けていない児童には個別に指導する。その際、すべてを書かせようとしない。

（板書計画）

（児童）

・道徳ノートと、道徳振り返りシートの記入。

６）指導のポイント

７）評価のポイント